

2004年3月期 決算説明会



2004年5月17日

株式会社電通国際情報サービス

1

代表取締役社長
瀧浪 壽太郎

2

2004年3月期 損益計算書

IF Evaluation document **iSiD**

(単位:百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年3月期 実績	04年3月期 実績	対前期 増減額	03年3月期 実績	04年3月期 実績	対前期 増減額
売上高	70,813	71,608	+795	54,331	55,982	+1,651
売上総利益 (利益率)	15,818 (22.3)	16,743 (23.4)	+925	10,405 (19.2)	10,666 (19.1)	+261
営業利益 (利益率)	△1,569 (△2.2)	588 (0.8)	+2,157	△1,198 (△2.2)	97 (0.2)	+1,295
経常利益 (利益率)	△1,584 (△2.2)	2,197 (3.1)	+3,781	△1,062 (△2.0)	1,288 (2.3)	+2,350
当期純利益 (利益率)	△2,058 (△2.9)	1,001 (1.4)	+3,059	△1,178 (△2.2)	735 (1.3)	+1,913

3

2005年3月期経営戦略 ①

IF Evaluation document **iSiD**

【外部環境】

- ・ 経営課題に直結した戦略的ソリューションを中心とした情報化投資回復傾向
- ・ 顧客企業のIT-ROI重視の投資姿勢は更に強まる
- ・ 価格競争・圧力等の厳しい事業環境は継続

【経営方針】

- ・ 「収益性の回復」を最優先課題とする
- ーコスト構造の最適化: 新人事制度による成果主義徹底による人件費抑制
外注費の削減をはじめとする外部コスト削減
- ーシステム開発品質の向上: 開発ガイドラインの改善、開発プロセス標準の浸透
PMOによるリスク・マネジメントの徹底
- ー収益性の高いビジネスへの選択と集中: 営業利益重視
パッケージ・ソリューションへの注力

2005年3月期において、
構造改革プロジェクト「Transform30」をさらに推進し、
2006年3月期以降の成長の基盤とする

4

2005年3月期経営戦略 ②

ISiD

収益性の回復を最優先としつつ、
同時に成長に向けた投資および施策を行なう

システム構築事業
□ 収益性回復

ソフトウェア事業
□ 売上拡大

安定収益事業
□ 事業拡大

5

中期経営目標に関して

ISiD

- ・特に営業利益の拡大を指向した、
新たな中期経営目標を、新体制のもと策定
⇒ 今上期中に発表予定

配当政策に関して

「安定配当」という基本方針通り、
2005年3月期の1株当たり年間配当は、20円00銭
(中間配当10円00銭、期末配当10円00銭)とする予定

6

品川新社屋移転に関して

- ・ ISiD国内主要グループ企業を2004年5月に港区港南へ集約
 - ・ ISiDグループを一箇所に集約することにより、会社・組織・人材のコミュニケーションをより活性化させ、高い付加価値を生み出す土壌とする。
- ★ 2005年3月期発生予定 移転費用
- ・ 営業費用: 約3億円
 - ・ 特別損失: 約12億円

7

2005年3月期 業績予想

(単位: 百万円、%)

	連 結			単 独		
	04年3月期 実績	05年3月期 予想	対前期 増減額	04年3月期 実績	05年3月期 予想	対前期 増減額
売上高	71,608	69,500	△2,108	55,982	54,500	△1,482
営業利益 (利益率)	588 (0.8)	1,300 (1.9)	+712	97 (0.2)	1,200 (2.2)	+1,103
経常利益 (利益率)	2,197 (3.1)	1,600 (2.3)	△597	1,288 (2.3)	1,300 (2.4)	+12
当期純利益 (利益率)	1,001 (1.4)	100 (0.1)	△901	735 (1.3)	100 (0.2)	△635

8

取締役常務執行役員

笠 健児

2004年3月期実績

2004年3月期 業種別売上高

ISiD

(単位: 百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年3月期 実績	04年3月期 実績	前期比	03年3月期 実績	04年3月期 実績	前期比
金融	18,638	15,402	82.6	12,465	10,896	87.4
製造	26,900	26,938	100.1	20,817	21,623	103.9
電通グループ	12,030	15,597	129.7	12,030	15,597	129.7
流通・ サービス等	13,245	13,670	103.2	9,018	7,864	87.2
合計	70,813	71,608	101.1	54,331	55,982	103.0

11

2004年3月期 金融業向けソリューション

ISiD

(単位: 百万円、%)

	03年3月期	04年3月期	前期比
連結	18,638	15,402	82.6
単独	12,465	10,896	87.4

2004/3期の事業動向

外部環境

- 引き合い・提案等の営業活動が徐々に活発化
- 金融機関による情報化投資は戻りつつあるも限定的かつ慎重
- 依然として厳しい価格競争・価格圧力

ISiDの状況

- 下期より地方銀行向けに格付・自己査定パッケージ・システムの導入を開始し、複数の銀行より受注獲得
- 大手都市銀行向け外為円決済代行システムを構築
- 証券会社向け米国株式取引管理システムの構築
- 収益性の高いビジネスへの選択と集中によるボトムライン・マネジメントを徹底

12

2004年3月期 製造業向けソリューション

IT Solutions Innovator **iSiD**

(単位:百万円、%)

	03年3月期	04年3月期	前期比
連結	26,900	26,938	100.1
単独	20,817	21,623	103.9

2004/3期の事業動向

外部環境

- 自動車、精密機器及び電機業界(デジタル家電)を中心に情報化投資は積極的
- IT-ROI重視の傾向は継続

iSiDの状況

- CAD/CAMライセンスに関しては2005年に次期バージョン販売となるため、買い控え傾向が見られる
- CAD周辺領域(データ交換パッケージ等)は受注拡大
- PDM、CAE、設計開発プロセス改革等の受注順調
- 生産管理系ERP売上拡大
- 売上高成長率が低いのは、ハードウェア販売の減少による

13

2004年3月期 電通グループ向けソリューション

IT Solutions Innovator **iSiD**

(単位:百万円、%)

	03年3月期	04年3月期	前期比
連結	12,030	15,597	129.7
単独	12,030	15,597	129.7

受注状況

経営情報に関する大規模システム開発の受注により売上規模拡大

14

2004年3月期 流通・サービス業向けソリューション

IF Solutions Group
iSiD

(単位:百万円、%)

	03年3月期	04年3月期	前期比
連結	13,245	13,670	103.2
単独	9,018	7,864	87.2

2004/3期の事業動向

➤ 市場環境

- SO、ネットワーク構築、連結会計に対する需要増
- 価格競争・価格圧力等、利益に関しては依然厳しい状況

➤ iSiDの状況

- 国際遠隔情報サービス「G*NET」の提供を前期末に終了
(2003年3月期売上高約8億円)
- 新連結会計パッケージ「STRAVIS」を下期より本格展開。受注・引き合い好調
- 大手顧客向けSI順調。社内ネットワーク再構築受注獲得
- プレイワークスが開発した人事管理パッケージ「POSITIVE」販売好調

15

2004年3月期 サービス品目別売上高(情報サービス)

IF Solutions Group
iSiD

(単位:百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年3月期	04年3月期	前期比	03年3月期	04年3月期	前期比
システム開発	25,790	25,755	99.9	20,003	20,672	103.3
ソフトウェア製品	2,225	2,924	131.4	1,379	1,606	116.5
情報処理 通信サービス	5,801	4,537	78.2	4,718	3,662	77.6

- ・ システム開発: 単独では、電通向け売上高増で金融、流通・サービス各業種の減少をカバーし増加しているものの、連結子会社における金融業向け売上の減少により、ほぼ前期並となっている。
- ・ ソフトウェア製品: 格付・自己査定パッケージ、連結会計パッケージ「STRAVIS」及びプレイワークスの人事管理パッケージ「POSITIVE」等のパッケージ販売が好調であったため連結・単独とも前期に対し増加している。
- ・ 情報処理
通信サービス: 国際遠隔情報サービス「G*NET」の終了等により前期に対し減少している。

16

2004年3月期 サービス品目別売上高
(情報関連商品)

IF Evaluation Committee **iSiD**

(単位:百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年3月期	04年3月期	前期比	03年3月期	04年3月期	前期比
ソフトウェア商品	27,076	29,438	108.7	21,702	23,986	110.5
情報機器販売	9,406	8,570	91.1	6,107	5,853	95.8
その他	512	381	74.4	419	200	47.7

- ・ ソフトウェア商品 : CAD及び金融業向けソフトウェア・ライセンス販売が伸び悩んだものの、ERP、PDM、CAE、設計開発プロセス改革、及び電通向け大規模システム構築に関する技術支援ビジネス等が順調だったため、前期に対し増加している。
- ・ 情報機器販売: 製造業を中心として、ハードウェア売上は前期に対し減少している。

17

2004年3月期 前期に対する利益変動要因

IF Evaluation Committee **iSiD**

			単 独	連 結
売上総利益	システム開発	前期不採算案件分	+ 約11億円	+ 約19億円
		前期不採算案件の総合テストに関する追加工数	約 4 億円	約 4 億円
		価格圧力及び追加工数の発生等による影響額	約11億円	約15億円
	ソフトウェア製品	ライセンス売上高増による影響額	+ 約 3 億円	+ 約 6 億円
	情報処理・通信サービス	売上高減による影響額	約 2 億円	約 3 億円
	ソフトウェア商品	売上高増による影響額	+ 約 6 億円	+ 約 7 億円
営業利益	販管費	経費削減による影響額	+ 約10億円	+ 約12億円
経常利益	投資有価証券売却益	保有有価証券の一部を売却	+ 約 9 億円	+ 約 9 億円
	その他営業外収益	持分法投資利益、為替差益等	+ 約 1 億円	+ 約 7 億円
経常利益 対前期増減額			+ 約23億円	+ 約38億円

18

2004年3月期

情報サービス売上原価明細書(単独)抜粋

(単位:百万円)

	2003/3実績	2004/3実績	前期増減額
単独外注費	19,995	23,017	+3,022
単独労務費	6,136	5,857	△279
内情報サービス売上原価	22,212	22,402	+190
内情報関連商品売上原価	4,730	7,286	+2,556
グループ会社比率 ①	30.3%	34.9%	+4.6P
ISiDグループ以外上位10社比率 ②	31.5%	30.3%	-1.2P
①+②	61.8%	65.2%	+3.4P

- ・外注費増の主要因は、電通向け大規模システム構築に関するソフトウェア商品売上及びERP構築売上が拡大したことに伴い、情報関連商品売上原価が増加したことによる。

19

2004年3月期 ブレイニーワークス業績

(単位:百万円、%)

	03年3月期	04年3月期	前期増減額
売上高	9,238	9,887	+649
経常利益	△229 (△2.4)	302 (3.1)	+531 (+5.5P)
グループ内 売上比率	18%	20%	+2P
従業員数(名)	337	360	+23



【2004/3期業績】

- ・パッケージ・ビジネス好調
- ー人事管理パッケージ「POSITIVE」
- ー金融業界向けパッケージコールセンターネットワーク・ソリューション融資系 等
- ・金融業向けパッケージをコアとする高収益なシステム開発案件に注力

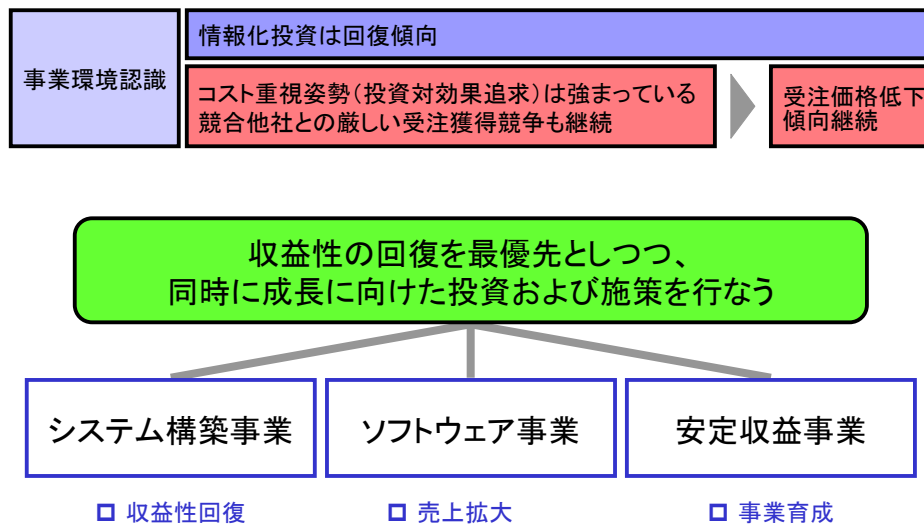
【2005/3期経営戦略】

- ・更なる収益性の向上を目指した経営
- ・パッケージ・インテグレーションへの更なる注力
- ー新製品開発投資
- ー既存製品機能強化投資
- 等を積極的に実施

2005年3月期業績予想

21

2005年3月期の取組み



22

2005/3期の取組み① システム構築事業



サービス品目

システム開発

ソフトウェア商品(ERP)

1. プロジェクト管理強化～品質、納期、収益の確保

- プロジェクト・マネジメント・オフィス(PMO)の設置
 - ◆ 全社PMOと事業部PMOの連携によるプロジェクト牽制・支援

2. 外注費削減

- 協力会社管理強化:リソース管理部
- オフショア開発の推進

3. 品質・生産性向上

- 開発標準化促進と全社展開
- 開発基盤D-FORCE II 適用促進

4. 当社の強みが発揮できる案件への集中

- お客様に認めていただける価値の提供と対価獲得
- 安定収益につながる案件

23

2005/3期の取組み② ソフトウェア事業



サービス品目

ソフトウェア製品

ソフトウェア商品

1. 事業育成・拡大

- BS事業部に専任部署設置(企画、営業、開発サポート)
- 製造システム事業部に当社独自ソリューション企画部門を設置
- ERPコンサルティング事業部の設置

2. 積極投資

- 将来の成長のために確実に投資を実行する
- 新規製品・商品開発案件のチャレンジを促し、支援する評価プロセス(企画レビュー)
- 事業性を見極める評価プロセス(投資レビュー)

3. 知の発掘～案件化への仕組み

- ナレッジ・マネジメント・システムの全社導入

4. 既存領域の拡大

- 金融:融資関連システム
- 製造:PDM、CAE、設計データ品質管理、CAD/CAM
- クロスインダストリー:連結会計、管理会計、人事管理、ERP、等

5. 新規領域の開拓

24

2005/3期の取組み③ 安定収益事業



サービス品目 情報処理通信サービス ソフトウェア製・商品(保守) システム開発

1. アウトソーシング事業育成

- アウトソーシング事業部設置
- 電通グループ、その他大手顧客アウトソーシング受託で蓄積した経験を展開
- 中期的に事業拡大を推進

2. 保守サービス売上の拡大

- ソフトウェア製品、商品事業の拡大に伴う保守サービス売上の拡大および維持

3. 重点顧客戦略の推進

- アカウント・マネジメント強化による顧客リレーション維持・強化
- フルライン・サービス(コンサルティング～構築～運用保守・アウトソース受託)による安定規模・継続的受注獲得

25

2005年3月期 サービス品目別売上高予想



(単位: 百万円、%)

	連 結			単 独		
	04年3月期	05年3月期	前年比	04年3月期	05年3月期	前年比
システム開発	25,755	24,810	96.3	20,672	20,730	100.3
ソフトウェア製品	2,924	3,670	125.4	1,606	2,280	142.0
情報処理 通信サービス	4,537	3,670	80.9	3,662	2,730	74.5
ソフトウェア商品	29,438	29,690	100.9	23,986	23,530	98.1
情報機器販売	8,570	7,420	86.6	5,853	5,080	86.8
その他	381	240	63.0	200	150	75.0
合計	71,608	69,500	97.1	55,982	54,500	97.4

26

2005年3月期 業種別売上高予想

ISiD

(単位: 百万円、%)

	連 結			単 独		
	04年3月期	05年3月期	前年比	04年3月期	05年3月期	前年比
金融	15,402	14,350	93.2	10,896	10,300	94.5
製造	26,938	28,320	105.1	21,623	22,200	102.7
電通グループ	15,597	14,700	94.2	15,597	14,700	94.2
流通・サービス等	13,670	12,130	88.7	7,864	7,300	92.8
合計	71,608	69,500	97.1	55,982	54,500	97.4

27

ISiDのグループ経営 (2004/5/17現在)

ISiD

中心事業	会社名	出資比率 (%)	メインターゲット市場			
			金融	製造	流通・サービス	電通グループ
コンサルティング	日本ビジネスクリエイト	75.6		●	●	
	iTiDコンサルティング	66.0		●		
	電通イーマーケティングワン	33.5	●	●	●	●
アプリケーション ・システム開発 ・ソフトウェア・プロダクト	プレイニーワークス	66.1	●	●	●	●
	ISiDインターテクノロジー	91.7	●		●	●
	ISiDテクノソリューションズ	100.0		●		
	ISiDフェアネス	90.9	●	●	●	
	海外各社	100.0	●	●	●	●
	EFS	38.0	●			
ハード/システム インフラ	兼松エレクトロニクス	20.0	●	●	●	●

* 1. 株式会社ISiDアビームは、2004年4月1日付をもって社名を「株式会社電通イーマーケティングワン」に変更し、当社の持分法適用関連会社となっております。

* 2. 株式会社ISiDは、2004年5月17日付をもって社名を「株式会社ISiDテクノソリューションズ」に変更しております。

28

補足資料 2004年9月中間期業績予想

29

2004年9月中間期 業績予想

(単位:百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年9月期	04年9月期	前年比	03年9月期	04年9月期	前年比
売上高	32,037	30,300	94.6	24,671	23,400	94.8
営業利益 (利益率)	△723 (△2.3)	△950 (△3.1)	—	△580 (△2.4)	△550 (△2.4)	—
経常利益 (利益率)	22 (0.1)	△800 (△2.6)	—	△9 (△0.0)	△500 (△2.1)	—
中間純利益 (利益率)	△233 (△0.7)	△1,350 (△4.5)	—	8 (0.0)	△840 (△3.6)	—

30

2004年9月中間期 業種別売上高予想

IF Evaluation International **iSiD**

(単位: 百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年9月期	04年9月期	前年比	03年9月期	04年9月期	前年比
金融	7,580	5,890	77.7	5,340	3,900	73.0
製造	12,524	12,660	101.1	9,937	9,900	99.6
電通グループ	6,008	7,000	116.5	6,008	7,000	116.5
流通・サービス等	5,923	4,750	80.2	3,385	2,600	76.8
合計	32,037	30,300	94.6	24,671	23,400	94.8

31

2004年9月中間期 サービス品目別売上高予想

IF Evaluation International **iSiD**

(単位: 百万円、%)

	連 結			単 独		
	03年9月期	04年9月期	前年比	03年9月期	04年9月期	前年比
システム開発	11,199	10,050	89.7	8,973	8,155	90.9
ソフトウェア製品	1,310	1,670	127.5	730	1,095	150.0
情報処理 通信サービス	2,369	1,895	80.0	1,848	1,395	75.5
ソフトウェア商品	12,937	13,210	102.1	10,337	10,430	100.9
情報機器販売	3,957	3,335	84.3	2,666	2,255	84.6
その他	262	140	53.4	116	70	60.3
合計	32,037	30,300	94.6	24,671	23,400	94.8

32